

# 城西大学スポーツ

2012年4月 第6号 新入生歓迎特別号

城西大学の題字は創立者・水田三喜男先生

発行所：〒350-0295 埼玉県坂戸市けやき台 1-1 城西大学

## 記者募集

記事を書いてみませんか。初心者でも大丈夫です。新聞記者経験がある職員が取材・書き方を基本から指導します。留学生も「学生記者」として活躍しています。興味がある学生、やる気がある学生、大歓迎です。写真、イラスト、漫画などでも協力してくれる学生もぜひ参加してください。

連絡はこちらまで [josaisports@josai.ac.jp](mailto:josaisports@josai.ac.jp)

水田 宗子 理事長 あいさつ



## スポーツ活動で よりよい学校生活を

新入生のみなさんへ入学おめでとうございます

新入生のみなさん、ご父母のみなさん、ご入学おめでとうございます。学校法人城西大学は、飛躍の年を迎えました。城西大学は創立50周年に向かって新たなスタートを切り、姉妹大学である城西国際大学は創立20周年を迎えます。この記念すべき年に、城西のキャンパスに学ぶことになったみなさんを、教職員一同、心から歓迎いたします。

創立者水田三喜男は、「学問による人間形成」を建学の精神に掲げました。本学はその精神に基づき、一丸となって豊かな人間性の涵養と社会に有用な人材の育成を目指しています。スポーツ・文化クラブでの活動はそうした目標を達成する力となることでしょう。城西には男子駅伝部をはじめ、卒業生・学生が培った「伝統と創造力」を持った運動部がたくさんあります。そこで活動をするのも、大学一体となって応援するのもいいでしょう。スポーツ・文化活動を通してよりよい学生生活を送ってください。

第88回箱根駅伝復路で  
6区平田から7区石橋へ  
総合6位でゴールテープを切る山本



箱根間往復大学駅伝競走 ★ SAPPORO

爛漫の春、夢と希望に満ちあふれた若人たちが、城西キャンパスに集って来た。見て、感じてほしい。男子駅伝部をはじめとする城西アスリートたちの素晴らしい輝きを。今年度も、各運動部は、それぞれの目標に向け、努力し、躍進してくれるだろう。新入生に、さらなる高みを目指し、切磋琢磨する「努力の天才」たちの声を届けたい。

# 走れ！ 城西アスリートたち

### 女子駅伝部

部長：横内靖典（理学部）▽監督：鈴木尚人（理学部）▽主将：小坂明菜（経営4）▽主務：高地愛（経営4）  
■昨年度の成績  
女子関東1部総合第9位▽関東大学女子駅伝優勝▽全日本大学女子駅伝6位入賞  
■今年度の主な大会  
関東インカレ（5月、国立競技場）▽関東大学女子駅伝（9月末、千葉・印西）▽全日本大学女子駅伝（10月末、宮城・仙台）

## 全日本でシード獲得

毎年、好成績を収めている女子駅伝部。昨年のトラックシーズンでは関東インカレ（杜の都駅伝）では、2年生が主力ながら6位入賞を果した。関東勢で唯一シード権を獲得し（経営3）が3位、井上藍（現代政策学）が10位と、出場選手全員が上位に入った。

## チーム全体の底上げを

小坂明菜主将  
昨年のシーズンでは第17回関東大学女子駅伝大会新記録を叩き出した。トラックシーズンの目標を振り返って、今季の目標は、チーム全体の底上げを、層の厚いチーム作りを目指している。そのために春のトラックシーズンでは、



茂木美優（東京・順天高出身）  
名門の東京・順天高出身の茂木は、インターハイへの出場はならなかったが、都大路（全国高校駅伝）、東日本駅伝では東京都代表に選出され、好成績を挙げた。その実績を生かして「杜の都駅伝」でも好走してくれるだろう。

岸田美香（埼玉・久喜高出身）  
地元埼玉からもスピードランナーが入部。昨年インターハイ千五百m出場。全国高校駅伝埼玉県予選会では流れを作る1区を務め、中距離から長距離と安定とした走りが見目。

中山成美（新潟・新潟商出身）  
昨年インターハイ千五百m出場。全国高校駅伝新潟県予選会ではアンカー5区を務めた。新潟商は新潟県高等学校総合体育大会で陸上部女子総合優勝と、長距離だけでなく、フィールド、中距離にも力を入れている。城西大学での活躍を期待したい。

## 関東一から全国へ

新チームの主将を任されたのは、3年生の山口浩勢（経営3）。城西大学では、10年ぶりの3年生主将となる。山口は「今年の箱根、総合3位以内が目標」

## 男子駅伝部

箱根駅伝で総合6位となり、シード権を獲得した男子駅伝部。目標にしていた5位には惜しくも届かなかったが、来年は「総合3位以内」を目標に新たなスタートを切った。

今度のチームの状況はどうか。小坂 冬季練習が終わった。新入生が入ってくる時期となったが、まだチームとして本格的に始動していないので、まずは春のシーズンに向けて個人個人のレベルアップに努めている。主将として心掛けていることは、小坂 今までは自分のことを考えていたが、主将となってからはチーム全体を見るようにしている。至らない所からチーム一体とって成長していきたいと思う。

山口浩勢主将  
「あつき駅伝」(1月)では、城西大学AチームとBチームが出場し、Aチームが総合2位に入った。個人では、2区の濱本栄太(経営4)が区間賞、3区の長谷川剛士(経営4)、4区の横田良輔(経営2)がそれぞれ区間2位で走った。長谷川と横田は、2月の神奈川マラソン(ハーフ、大学男子の部)で自己ベストの1時間40分、好記録を出しており、チームの層が厚くなっている。

## 目指せ！ 学生3大駅伝出場

箱根駅伝で総合6位となり、シード権を獲得した男子駅伝部。目標にしていた5位には惜しくも届かなかったが、来年は「総合3位以内」を目標に新たなスタートを切った。

## 箱根、総合3位以内が目標

箱根駅伝で1区を好走した村山紘太(経営3)も、2月に千葉国際クロスカントリー、福岡クロスカントリーに出場し安定感のある成績を残している。また、橋本隆光(経営3)が2月の青梅マラソン(一般男子30歳)で1時間34分28秒の2位に入り、30歳の城西大学史上最も速い記録を叩き出した。

箱根駅伝で1区を好走した村山紘太(経営3)も、2月に千葉国際クロスカントリー、福岡クロスカントリーに出場し安定感のある成績を残している。また、橋本隆光(経営3)が2月の青梅マラソン(一般男子30歳)で1時間34分28秒の2位に入り、30歳の城西大学史上最も速い記録を叩き出した。

来年こそ箱根駅伝で目標とする順位でのゴールを。山口浩勢主将は「今年度の主な大会 関東インカレ(5月12、13、19、20日)▽全日本大学駅伝(関東予選)▽日本インカレ▽出雲駅伝▽全日本大学駅伝▽箱根駅伝」主将から新入生へ 大学はほとんどが自由になってきていて、良くなるのも悪くなるのも自分次第なので、人に流されず、自分の信念を貫いて、思い描いている4年間を楽しみたい。山口浩勢主将







# 地域交流も活発に 礼節の精神養う

剣道部



城西大学が創設されてから2年目に誕生しただけに、300人以上のOB・OGを輩出している老舗である。全日本大会を目標として掲げ、試合での勝利へのこだわりはもろろん、感謝や謙虚さなどの礼節の精神を養うことも目標としている。

また、地域交流として中学校への審判派遣や、月1回の地域剣道連盟の先生方と定期稽古会も実施して地域の

城西大学が創設されてから2年目に誕生しただけに、300人以上のOB・OGを輩出している老舗である。全日本大会を目標として掲げ、試合での勝利へのこだわりはもろろん、感謝や謙虚さなどの礼節の精神を養うことも目標としている。

また、地域交流として中学校への審判派遣や、月1回の地域剣道連盟の先生方と定期稽古会も実施して地域の

方々との交流を深めていく。

新入生へは、「やる気と熱意のある方大歓迎。目標を持って学生生活を充実させて下さい」とのことだ。

福島県広野町出身の根本貴弘さん(経営2)からは、「部活の先輩や同級生などの頼れる先輩がいて良かった。これからも頑張っていきたい」と話している。

また、井川紀彦監督(坂戸市役所)からの勧めもあり、昨年の東日本大震災で被害にあった東北出身の部員

2人にコメントをもらった。

岩手県山田町出身の湊あゆみさん(現代政策4)は「家族の大切さが分かって、家族を気遣う気持ちができた。福島県広野町出身の根本貴弘さん(経営2)からは、「部活の先輩や同級生などの頼れる先輩がいて良かった。これからも頑張っていきたい」と話している。

また、井川紀彦監督(坂戸市役所)からの勧めもあり、昨年の東日本大震災で被害にあった東北出身の部員

# 関東2部復帰へ決意

サッカー部

サッカー部は、昨年度2度の関東2部リーグの昇格・出場を果たしたが、結果は一部力が及ばず埼玉県1部リーグに降格した。雪辱に燃える今年の目標は、「関東2部リーグ復帰」とも、「天皇杯出場」である。選手一同、「天皇杯全日本サッカー選手権で埼玉県代表となり、全国の舞台でJリーグのチームと真剣勝負」に絶対の自信を語っている。

今年度はゼロからのチーム作り、再出発になるため困難が立ちほだかるだろう。だが、じっくりとチームを作ることにより、大事なところで勝てるチームになる。新しく生まれ変わるサッカー部の明報が届けよう。

【金子亮】

**剣道部**  
部長：草野素雄(副学長、経営学部長)▽監督：井川紀彦(坂戸市役所)▽主将：石澤政(現代政策4)▽主務：星川駿人(現代政策4)  
■部員数：21人(うち女子5人)  
■練習場所：総合体育館格技室B  
■昨年度の成績  
埼玉学生新人大会個人ベスト16・多賀貢(経営2)▽埼玉学生剣道優勝大会団体3位▽同個人敢闘賞・松本正輝(経営3)▽埼玉女子学生剣道優勝大会個人敢闘賞・加地美咲(経営2)  
■今年度の大会  
関東学生剣道選手権大会(5月13日、日本武道館)▽関東女子学生剣道選手権大会(5月19日、東京武道館)▽埼玉学生剣道新人戦大会(7月8日)▽関東学生剣道優勝大会(12月1日、東京武道館)▽埼玉学生剣道優勝大会(12月2日)▽関東学生剣道新人戦大会(12月9日、東京武道館)  
■目標  
全日本大会出場

**サッカー部**  
総監督：永都久典▽監督：猿山誠▽ヘッドコーチ：篠原正樹▽アシスタントコーチ：軽部雅也▽GKコーチ：田島達▽主将：門間拓巳(経営4)▽副将：吉住大輝(経済政策4)▽副将：老田達郎(経済4)▽主務：黒川梨芽  
■練習場所：総合グラウンド、東松山リコーグラウンド  
■昨年度の成績  
関東大学サッカーリーグ2部から降格  
■今年度の主な大会  
1種選手権大会(2、3月)▽埼玉県リーグ1部(4月)▽彩の国カップ天皇杯埼玉県予選(7、8月)▽天皇杯全日本サッカー選手権大会(12月)  
■新入生へ  
サッカーを通して、人としていかに成長していくのかを追求して自分で「考え・行動・成長」をしていけるように、大学生活で学んでもらいたい。

**「杜の都」10年連続出場  
シード獲得へ練習強化**

城西国際大学(大塚正美監督)を目標にしている。

今年の「杜の都」は、日本大学女子駅伝(杜の都駅伝)に10年連続出場を果たしている。

17年連続18回出場する城西大学と並び「仙の顔」である。前回の同駅伝では、11位に終わり、シード権を獲得できなかったが、新主将の花田菜美子(青森・黒石高、4年)は、中心に17人の部員は、「仙台で5位以内」

に「スポーツ鬼ごっこ」といった練習も取り入れている。

大学女子駅伝界は、参入大学が多くなり、また各大学もチーム強化に力を入れており、毎年競争が激しくなっている。

前回の「杜の都」は、駅伝大大会、日本大学の伝統校が予選落ちし、出場できなかった。

6位以内のシード権を取ったのは、城西大学だけ、という

# 弓道部

主将：原田美嘉子(経営4)▽主務：前野立志(経営2)  
■部員数：男子11人、女子1人  
■練習場所：総合体育館地下1階  
■所属：男子中関東1部(同一ディビジョン)他大学：国際武道、埼玉、大東文化、日本)▽女子中関東1部(同一ディビジョン)他大学：国際武道、埼玉、大東文化、文教)  
■昨年度の成績  
男子  
関東学生弓道選手権大会決勝大会優勝▽全日本学生弓道王座決定戦出場  
女子  
中関東一部昇格  
■今年度の主な大会  
関東学生弓道選手権春季トーナメント大会予選(4月)、同決勝(5月、大宮公園弓道場)▽全関東学生弓道選手権大会個人予選(6月)、同本戦(6月、日本武道館)▽全国大学弓道選抜大会(7月、明治神宮弓道場)▽全日本学生弓道選手権大会個人予選(7月)、同本戦(8月、日本ガイシスポーツプラザガイシホール)▽関東学生弓道選手権大会(中関東リーグ戦、9~10月、東京武道館)、同本戦(11月、東京武道館)▽全日本学生弓道王座決定戦・東西学生弓道選抜対抗試合(11月、伊勢神宮弓道場)  
■目標  
男女とも全国制覇  
■新入生へ  
未経験者でも大歓迎です。弓道に少し

# 硬式庭球部

部長：坂内聡(城西大OB)▽主将：原田一希(経営4)▽主務：大津幸人(経営4)  
■部員数：男子12人、女子5人  
■練習場所・時間：春~秋/学内クレイコート3面▽冬/学外に移動1日3時間ほど練習している  
■主な大会  
年に3回関東の大学でトーナメント(関東学生テニストーナメント/2、4、8月)の他、近隣大学との対外試合など多数  
■注目選手：青曾卓弘(経営2、柳川高校)。テニスにスピード感がある  
■目標  
リーグ戦(関東学生テニストーナメント/9月)昇格  
■新入生へ  
入部して大学4年間を充実したものにしましょう!

# ソフトテニス部

部長：若林英嗣(理学部)▽監督：菅野幸之助(城西大OB)  
男子▽主将：鮎澤貴博(経済4)▽副将：朝日悠輔(現代政策4)▽主務：中野大輔(経済4)▽主務：関上雄太(経営4年)  
女子▽主将：石田麻日(経営4)▽副将：小山絵梨(現代政策4)▽主務：森川な

# 全学応援團

監督：山田憲治▽團長代行：赤上捷(理学部)  
■活動場所：学友館1階部室、体育館前  
■活動日：週3日  
■年間活動内容

# チアリーダー部

主将：吉田千穂(薬学部)  
■部員数：6人(3年生1人、2年生1人、1年生4人)  
■活動日：毎週2日(月曜日、木曜日)4時限目以降  
■活動場所：体育館 アリーナ前  
■年間活動内容  
春季/野球大会応援・新入生歓迎演舞▽夏季/練習を中心に活動(毎週4日)10~16時▽秋季/野球大会応援・高麗祭出場▽冬季/箱根駅伝応援練習▽課外活動



**取材スタッフ**

編集長	経営学部4年 原 駿介	経営学部4年 金子 亮	現代政策4年 張 夢堯
副編集長	経営学部4年 寺田 登	経営学部4年 江田 悠真	経営学部3年 久村 洋介
	経営学部4年 嶽 優紀	現代政策4年 王 玉珏	経営学部2年 齊木ひろみ

**監修・アドバイザー**

副学長	草野 素雄	経営学部助教	山口理恵子	2011年度卒業	千葉 史典
経営学部准教授	土江 寛裕	薬学部准教授	上田 秀雄	2011年度卒業	安富英里香

Jスポ フェイスブックはこちら <http://www.facebook.com/JOSAISPORTS>

**醍醐味 感動の瞬間すぐそばで**

「城西大学のスポーツを盛り上げた」ということから発足したJスポ編集部も結成から1年半が経とうとしていく。男子駅伝部の所属し、その練習の合間を縫いながら取材、編集会議は大変だった。しかし各部の部員やマネージャーから寄せられる感謝の声もあり、やり遂げることができた。

この間、体育会として城西のスポーツを見てきたが、着実にどの部も力をつけてきている。そこには、たくさんの方の支えがある。それを知ったのも記者・編集者の活動のおかげだと思う。悔し涙を分かちあう、

感動の瞬間をすぐそばで味わえるのも記者の醍醐味だった。他大学の新聞部に比べればまだまだ歴史は浅く、発足途中で伝えたいことを伝えきれなかったかもしれないが、自分自身が、本当に価値のある経験ができた。在学生や新入生には是非とも編集部に入ってく、この貴重な経験をしてほしいと思う。最後となるが、この活動をするにあたって支援してくれたスタッフの先生方には感謝している。Jスポ並びに城西大学のスポーツの益々の発展を期待し、これからも応援していきます。

【千葉史典・前編集長 今春卒業】